

「日本財団助成事業 ALS等におけるコミュニケーション支援体制構築事業」

難病コミュニケーション支援講座@宮城

テレビドラマや漫画「宇宙兄弟」で取り上げられたり、昨夏の「アイス・バケツ・チャレンジ」により、ALS（筋萎縮性側索硬化）の病名と症状は、社会の中に周知されてきました。しかし、実際に支援する方法は十分に伝わっていないのではないのでしょうか。そこで、支援の第一歩であるコミュニケーションについて詳しく学ぶ講座を開催いたします。

基礎知識と支援機器の操作体験を交えたわかりやすい講座です。口文字や透明文字盤を使っての会話、意思伝達装置「レッツ・チャット」や「伝の心」など対象者がよく使っている機器を中心に、基礎的な使い方から、導入方法、入力スイッチの適合など、支援に必要な知識を一通りお伝えします。また、支援者間での情報共有ができるよう、ネットワーク作りも行います。

日 時：2015年7月4日(土) 10:00~17:30、5日(日) 9:30~16:30

※ 2日間参加できる方を優先させていただきます

主 催：一般社団法人日本ALS協会 東北大学医学部教員有志

共 催：日本ALS協会宮城県支部

対象者：ALS患者等の支援に携わっている方

(OT・PT・ST・保健師・看護師などの医療職、介護職、ご家族、ボランティア等)

受講料：無料

定 員：50名

会 場：東北大学医学部6号館 1Fカンファレンスルーム1 (仙台市青葉区星陵町2-1)

内 容：

【4日】ALS等の進行性の神経難病のコミュニケーション支援について

(東京都立神経病院 作業療法士 本間武蔵)

透明文字盤・口文字実技練習

視線入力体験

iPadやiPhoneを1スイッチで操作

(NPO法人ICT救助隊 今井啓二・仁科恵美子)

コミュニケーション機器の助成制度と宮城県・仙台市の支援体制について

(行政担当者予定)

当事者報告と意見交換会

(日本ALS協会宮城県支部 東北大学医学部有志)

(日本ALS協会副会長 岡部宏生)

【5日】伝の心・オペレートナビ実技練習

(NPO法人ICT救助隊 今井啓二・仁科恵美子)

(NPO法人せんだいアビリティネットワーク

仙台市重度障害者コミュニケーション支援センター 職員)

スイッチの適合 (川村義肢株式会社 日向野和夫)

お申し込みは下記のメール宛に、6月27日(土)までお願い致します。

日本ALS協会 宮城県支部 担当：本間里美

Email : satomi.honnma@gmail.com

お問合わせ先：携帯：080-1894-1028 022-717-8128

会場案内

バスでお越しの方

JR 仙台駅西口バスプール発 10、15、16 番のりば
大学病院経由」または「交通局大学病院前」行き乗車
大学病院前」下車。(約 20 分、180 円)

電車でお越しの方

仙台市営地下鉄泉中央方面行きに乗車「北四番丁駅」にて下車(約 5 分、200 円)
北 2 出口より、山形方面へ徒歩 15 分



駐車場(自動車)

★ 駐車場がございませんので、自動車でのお越しはご遠慮ください。